

改善箇所説明図



助手席エアバッグ

改善箇所

助手席用のエアバッグのインフレーター(膨張装置)において、ガス発生剤の吸湿防止が不適切であった場合、高い湿度の環境下で大きな温度変化を繰り返すと、ガス発生剤が劣化することがある。そのため、エアバッグ展開時にインフレーター容器が破損するおそれがある。

改善の内容

全車両、助手席エアバッグユニットを対策品と交換する。
なお、対策品の準備に時間を要するため、まず全ての使用者に対しダイレクトメール等により連絡し、対策品が準備できた段階で再度連絡し、交換作業を行う